

2015 年新春寄語

- FROM ZERO-SUM GAME TO WIN-WIN GAME -

あけましておめでとうございます。

皆さまには、輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。日頃より、各般にわたる格別のご支援、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

日中発展促進会の昨年を振り返りますと、「一般社団法人国際3E 研究院」と共同で、2月16日に第1回記念講演会を京都大学で開催され、日本経済、環境、医療、観光、文化専門家訪問団を数回にわたり中国大連、杭州などの都市・農村に派遣し、または中国からの訪問団を迎え入れ、現地視察、企業交流、政府訪問などを行い、環境、医療、観光、人材育成など関連分野で現地企業及び政府と協力することに合意がえられ、特に日本大連・庄河発展促進会を設立し、大連・庄河市における日中韓循環経済モデル基地の建設や日中韓の共なる発展に向けて、産学研連携で具体的に協力・推進しているところです。

現在、日中両国は、異なる発展段階にありながら、互惠補完の相関関係に位置づけられており、お互いに最大貿易国として、お互いに必要不可欠な市場であります。互惠補完的な協力は両国の唯一な選択肢であると考えます。日中両国は、歴史的、未来的視座から、「ゼロサムゲーム」または「マイナスゲーム」から「ウィンウィンゲーム」へと賢明に転換することが求められます。

今年は、日中互惠補完型協力モデル事業の開拓と創成に力を入れ、一步一步前進してまいります。

日中両国の共なる発展の促進に、微力ながら貢献してまいりたい所存である。今後とも皆さまのご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとって健やかで実り多い年となりますよう心よりご祈念申し上げ、年頭のあいさつといたします。

2015 年元旦

日中発展促進会 会長

日本大連・庄河発展促進会 会長

周 瑋 生